

## 第2回東松山市幼児教育振興懇談会 次第

令和6年8月8日(木)  
午後3時30分から  
平野市民活動センター会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 第1回幼保小三者連絡会の報告

(2) その他

4 閉 会

令和6年度 東松山市幼児教育振興懇談会参加者

No.	氏 名	所 属	参加者区分		
1	巢立 佳宏	山村学園短期大学講師	1号	知識経験者	欠
2	中村 昭司	坂戸ひまわり幼稚園長	1号	知識経験者	出
3	小佐野 真紀	東松認定こども園げんき主幹教諭	2号	幼稚園代表者	出
4	竹内 千鶴子	東平幼稚園長	2号	幼稚園代表者	出
5	峯 岩男	ひさみ幼稚園長	2号	幼稚園代表者	出
6	眞秀 宏	松山第二小学校長	3号	小学校長代表者	出
7	二口 法子	桜山小学校長	3号	小学校長代表者	欠
8	狐塚 汐里	高坂ひまわり保育園長	4号	保育園代表者	出
9	本嶋 郁美	まつやま保育園長	4号	保育園代表者	出

※任期2年（令和8年3月31日まで）

## 第 1 回幼保小三者連絡会実施報告

- 1 テーマ 「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について  
～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」

2 公開授業の内容

開催日	会場校	実施内容（科目／教諭名）
7月1日（月）	新明小学校	1年1組 算数「どちらがながい」 後藤 菜美
		1年2組 国語「はをへをつかおう」 小澤 なづな
7月3日（水）	高坂小学校	1年1組 算数「長さくらべ」 小針 良久
		1年2組 算数「長さくらべ」 辻本 弥生
		1年3組 道徳「みらいがかいたえ」 栗原 美紀
		1年4組 国語「はをへをつかおう」 岩崎 里沙

- 3 参加人数（公開授業）
- |       |     |
|-------|-----|
| 新明小学校 | 36人 |
| 高坂小学校 | 35人 |
| 計     | 71人 |



令和6年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

開催日 令和6年7月1日(月)

会場 新明小学校

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長:狐塚氏)

- 1 個性豊かなクラス。大変な子もいるが、その分、協調性が生まれたように感じる。一人ひとりが自信を持って、意欲が起こるような指導を心がけている。発言が苦手な子が多かったが、子ども同士で教え合う環境が育まれていった。(小学校)
- 2 先生の声がけひとつで、子どもは自信を持てる。友達作りが上手な子は、情緒が安定している。(保育園)
- 3 椅子に座っていることが苦手な子が増えてきた気がする。集中力にも欠けるため、「1回しか言わないよ。」など、声がけに工夫が必要。(保育園)
- 4 年中から線遊びを導入しており、年長で平仮名を練習するが、興味がないと文字は難しい。無理強いせず、褒めるようにしている。(幼稚園)
- 5 椅子が苦手な子も、好きなことをしている時は座っていられたりするので、そういったタイミングを逃さず、無理強いせず好きなところから伸ばして行ってあげたい。(保育園)
- 6 正しい姿勢について  
「姿勢の歌」というのがあり、4・5月は毎授業、歌ってから授業に臨んでいたが、なかなか直らない。しかし、6月の硬筆で気づく子が多い。(小学校)
- 7 文字について  
ノートのための平仮名では意欲が湧かない。例えば、自分の気持ちを伝えるためにノートに書きたい⇒文字を学びたい、という意欲につながる。幼稚園、保育園では、そういう点を育てていただけたらありがたい。(小学校)
- 8 乱暴な言葉遣いについて  
「気持ちは合っているけど、伝え方が違うよね。」⇒「どう言ったらいい?」⇒「～～しようね。」と子どもに寄り添うと、子どもなりに考え、違う伝え方を考える。(小学校)
- 9 子どもの情緒について  
床や廊下で寝てしまう子に対し他児が「○○座れよ。」と言われても戻らない。だが、ペアで進める場面等では戻れたりする。本人の情緒もあるが、友達に必要とされる経験も必要。(小学校)

## 2班 (座長：峯氏)

- 1 まず子ども自身に考えさせ、その後教員が確認という流れにより子どもの主体性を大切にしている授業だと感じた。(保育園)
- 2 どうして、なぜこのようになるのか子ども自身の言葉で伝えさせるような内容の授業であった。関心意欲、探求心を引き出せる授業内容であったため、子どもの力を伸ばすことができると感じた。(保育園)
- 3 積極的に挙手をする子どもが多かった。子どもの積極性を高められる教育であった(保育園)
- 4 授業時にタイマーや時計を見える位置に置いて授業を行う点がよかった。子どもが一目で時間を把握でき、友達同士で話し合い、自主的に時間管理ができるようになって感じた。(保育園)
- 5 自分の教え子で、以前は座っていた子どもが今回授業中に歩き出してしまった。(保育園)  
→多角的な視点で子どもを見る必要あり (幼稚園)
- 6 保育園幼稚園の先生は子どもたちにとって母親のような存在であることが、今回の公開授業での子どもたちの表情から感じた。(小学校)
- 7 児童によっては取り組み方に個人差があるが、発達に合わせた声掛けをしていた点が良かった。(小学校)
- 8 座学だけでなく、授業内に「遊び」を取り入れメリハリをつけることが大切。(幼稚園)
- 9 実際の生活内で得られる知識や感じたことをどう学びに活かしていけるかが重要 (幼稚園)
- 10 小学校就学に対する不安を軽減させるために、園児と小学校について対話を行う。(幼稚園)
- 11 ある程度は子どもに任せて、教員が枠組みを作りすぎないよう見守る。  
→子ども同士で注意しあう、話し合う主体性を伸ばすことにつながる。(幼稚園)
- 12 保育園・幼稚園の準備、学校の準備は子どもと親がコミュニケーションをとりながら楽しく行ってほしい。(小学校)
- 13 教育主導ではなく、子どもが主体となるアクティブラーニングが重要。(幼稚園)
- 14 幼保が就学後に教育面でも連携していく必要がある。→三者連絡会の小学校の先生の参加率を増やす必要がある。(幼稚園)
- 15 子どもの好奇心に任せた教育を小学校教育でも求められるのではないか。(幼稚園)

### 3班 (座長：竹内氏)

- 1 5歳児クラスで行う「話し合い」の難しさを感じている。子どもの意見を引き出しながら、最終的にどのようにまとめているか？ (幼稚園)  
→失敗も含めて経験であると考え、アイデアは否定せず、子どもたちと一緒に作り上げていく保育をしている。(保育園)
- 2 同じ一年生でも年度によって児童の雰囲気は違う。方向性のある程度決めて、まずは否定をせず全て受入れ、明確な間違いは正解に導くような指導をしている。(小学校)
- 3 失敗を恐れず自分の言葉で伝えることを重視している。否定しないことで、その子らしさや様々な意見が出るようになって考えている。(保育園)
- 4 保育園は小学校よりも時間を使うことができる。全員で揉めながらじっくりと話し合う時間を大事にしている。小学校では授業時間の限られた中で教えていく必要があると思うが、遅れてしまう子への指導はどのようにしているか？ (幼稚園)  
→授業に集中できない子、書くスピードが遅い子など、遅れてしまう原因は様々である。まずは、遅れてしまう原因を探り、サポートの先生を付けるなど工夫して授業を進めている。(小学校)
- 5 定期的にグループを替えたりして様々な交流を行い、成長に併せた保育を行っている。(幼稚園)
- 6 集中する環境を整えるため、準備が出来たら聞く姿勢をするように指導している。先生が指示をして聞くのではなく、自発的に判断をできることを目標としている。(幼稚園)
- 7 幼保小での教育だけではなく、家庭教育の重要性も感じることもある。小学校に上がる前に45分間集中する練習ができているとよいかと思う。(小学校)  
→幼保では45分間机に座って勉強することはあまりないためなかなか難しい。遊びながら、経験を通して学んでいくことが多い。(幼稚園)
- 8 人の話を集中して聞く状況を作る。遊ぶときは遊ぶ、聞くときは聞くといったメリハリを大事にしている。(保育園)
- 9 とことん遊んで子どもの発想、創造力を広げている。そうすることでやりたい気持ちを伸ばし、自分で考える力が養われると考えている。幼保は遊びの中から学んでいくことがメインであるため、小学校の授業との違いに戸惑ったりしないか？ (保育園)  
→小学校では、入学時点での理解度に関わらず全員一律で0から(文字を書く時のトメ、ハネ、ハライ等)教えていくことを心掛けている。そのため、幼保では、自分の名前・体調・気持ち等を伝えることができているれば大丈夫かと思う。(小学校)
- 10 小学校での休み時間、友達関係等はどうか？ (保育園)  
→年によってトラブルの多い年もある。子どもたちの様子によって対応を検討している。(小学校)  
→児童同士のトラブルではお互いの言い分を尊重しながら解決するように心がけている。どちらかの意見に偏らないようにしている。(保育園)  
→5歳児では2人きりで15分程話し合っただけで仲直りできる子もいる。手が出るようなケンカ

には間に入っているが、話し合いで解決できる場合は、様子を見ながら対応している。

(保育園)



令和6年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

開催日 令和6年7月3日(水)

会場 高坂小学校

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長:小佐野氏)

- 1 集中力を持続させることが難しい。(保育園)
- 2 年長クラスでは意見交換や園児同士で話し合う機会を多く設けている。(保育園)
- 3 自分のことは自分でやる、周りも助け合うことを日ごろから意識させている。(保育園)
- 4 児童の机の上が整理整頓されていた点が非常に良かった。(保育園)
- 5 保育園の頃とあまり様子に変化が見られない子もいた。(授業中席を立ててしまう、落ち着きがない、椅子で遊んでしまう等)(保育園)
- 6 就学に向けて人の話を最後まで聞く、自分の考えを言葉で伝える力を身につけさせることが大切。→集中力、話を聞く姿勢を幼保教育で伸ばしていきたい(保育園)
- 7 就学前に文字に触れる機会としてお手紙ごっこを行っている。  
→自分での言葉で伝える力も伸ばすことができる(保育園)
- 8 園児同士がコミュニケーションをとり、主体的に行動するよう当番活動を行っている。(保育園)
- 9 先生が口出ししすぎない、できるところは子どもに解決させるようにしている。(保育園)
- 10 算数では「遊びの延長」で学ぶ点が子どもの好奇心を伸ばすことにつながると感じた。(保育園)  
→幼保教育での普段の遊びは、就学後の自発的な学びにつながる。(認こ)
- 11 手遊びや落ち着きのない児童も見られ、幼保教育でそのような園児には毎回注意すべきか(まつやま保) →手悪さ等は発達的な特性を持つ子どもは治りにくい。他の子どもがやると真似しだすためその都度注意すべき。(小学校)
- 12 入学後の登下校に慣れさせるために歩くことに力を入れている。楽しんで歩く子増えた。(保育園)
- 13 集中力持続のために、合間に休憩がてらの手遊び等、授業の展開方法が工夫されていた。(認こ)
- 14 子どもの興味が何に向いているかを教員側も理解することで、座学時の集中にもつながる。  
幼少期は何事もまずは経験させることが大切。(認こ)
- 15 子どもの主体性に重きを置く、できないことに視点を置かない(認こ)
- 16 子どもの主体性を第一に考えるようにしているが、就学後の協調性や学びに対する取り組み方に不安がある。(幼稚園)
- 17 コロナ禍後、子どもたちの体力が落ちていることを実感する。(小学校)
- 18 45分間の授業をいかに飽きさせないかが大変。15分おきにトイレや水飲み時間設けていた。

だんだん間隔をあけていく (小学校)

- 19 教育するうえで子どもに気付かせる、チャレンジしてみるよう促すようにしている。(小学校)
- 20 子どもの興味をいかに学びにつなげるか。先を見通した授業展開を意識している。(小学校)
- 21 児童に注意する際、伝え方を工夫している。(小学校)  
「掃除して！」ではなく「○○さんがきれいに掃除されていたと褒めてたよ」と伝える等
- 22 人の話を最後まで聞くよう、全員が目を向けるまで話をしない等、徹底している。(小学校)
- 23 自分のことは自分でやるということを意識させている。(小学校)
- 24 小学校では規律やメリハリが大切だが、子どもにとっては幼保生活から小学校生活のレベルアップに対応できていない子が多い (小学校)  
→最初は不安やきついと感じる子も多いが、ある程度すれば小学校の中での楽しみを見つけられるようになる。(認こ)  
→入学後の子どもたちの気持ちの落ち込みや悩みは教員がサポートしていく必要あり (認こ)
- 25 授業ごとの気持ちの切り替えが子どもたちには難しい。(小学校)
- 26 小さなことでも授業内に子どもの主体性を取り入れることが大切。→意欲につながる (小学校)
- 27 幼保教育で経験をたくさん積む、たくさん失敗するという体験をしてほしい。(小学校)
- 28 挨拶や返事等、当たり前のことを当たり前だと子どもに認識させる必要あり。(小学校)

## 2班 (座長：狐塚氏)

### ○幼稚園

- 1 メリハリ、我慢など集中してもらえようような取組をやっていききたい。
- 2 人前での発表苦手な子が多いため、経験を増やしていききたい。
- 3 聞く力を身につける、自信を持って生活できるようにさせてあげたい。
- 4 互いに刺激しあう集団教育が必要。

### ○保育園

- 1 児童だけに関わらず、個々の家庭環境についても幼保小で連携できると良い。
- 2 保育園では少人数クラスのため、小学校に進学し大人数のクラスに入ったときに先生や友達との接し方にギャップが生まれることが心配、課題。  
発言する力や相手の気持ちを考える力などをフォローしていききたい。  
体験して楽しく学ぶ学習を参考にしたい。
- 3 保育園では興味があることは膨らませて時間をとっているが、学校の授業は時間に制限があるため、切り替えていくことをどのように伝えていくかが課題。集中力を身につける、気づく力が大切。
- 4 年長児のクラスでは、意見を出し合う機会を設けているが、恥ずかしくて発言できない子が多い。また、自分のクラスでは発言できるが、違うクラス(環境)になる発言できなくなってしまう子もいる。

○小学校

- 1 クラスの生徒が多いと発表時に発言できない生徒もいる。  
そのため、ペア活動を取り入れお互いに発表（発言）する機会を設けている。
- 2 我慢する力を鍛えることが必要。やる、やらないのメリハリをつける。

3班（座長：本嶋氏）

- 1 給食の配膳ができない。掃除の方法、雑巾がけの経験がない子ども達がいる、指導に時間がかかる。字については、一から指導するので自分の名前が読めればよい。園での方針もあるかと思うが、園の方針や特徴などをお聞きしたい。(小学校)
- 2 就学してくる子ども達に、学習の差を感じる。書きは学校で一から教えるが、読めて書けるに越したことはない。(小学校)
- 3 読みはできたほうがよい。書きは学校に任せていただいてよい。
- 4 当園は、3歳から平仮名、読み書きを始め、4歳から国語、算数の時間割がある。4歳児は12人いるが、そのうち、8人は読み書きができる。二桁の算数もできる子もいるが、個人差が大きい。(保育園)
- 5 当園は、勉強はいっさいない。食べて、遊んで、寝る、という基本的な生活リズム、自分自身の土台作りを大切にしている。生活の中で生まれてくる疑問や数の概念を大切にしている。2歳児から、配膳をしている。(保育園)
- 6 勉強の時間はないが、生活の中で「数」に関わる場面が出てきた時を大切にし、「何個もってきて。」とか「じゃあ、何個ずつにする？」など、数の感覚を大切にしている。平仮名への興味は、個人差が大きい。年長の1月頃に、お手紙交換で字へ関わられるようにしている。雑巾がけは毎日している。(保育園)
- 7 勉強に時間はないが、遊びの中で数や文字に興味を持てるよう保育している。「あ」から始まる言葉探しやしりとり、今日は何月何日？とか時計の針を使っての数字に触れられるようにしている。文字に興味を持ち始めた子もいたので、先日、保護者と一緒に「あいうえお表」を作成した。英語に触れる時間も月に2回ほどある。(保育園)
- 8 就学にあたり、字を書くことまでは必ずしも求めないが、読みはできたほうがよい。数は、遊びの中から学べるとよい。(小学校)
- 9 遊びの中で興味をもった時に伝えるようにしている。「教える」という感じではない。読み書きについては、卒園までには、自分の名前が書けるようにしている。書き順まで正しく教えることはできていない。(幼稚園)
- 10 年長は、自分の名前は漢字で書けるようになってきている。お友達のお名前も、漢字で読める。配膳に関しては、箱に入ったお弁当を取りに行くだけなので、お玉や杓文字を使った配膳というのは環境的にできない。掃除に関しては、定期的な掃除の時間はない。(幼稚園)
- 11 自己肯定感が大事。他人に認めてもらう経験や自分が好きになるように、小さなことでもできてあげたら褒めるようにしている。(保育園)

- 12 こども自身が、「興味を持って楽しい。」という気持ちを持って小学校へ行けるよう、送り出してほしい。以前、母親が厳しいご家庭があり、文字を見るだけで泣いてしまうお子さんがいた。このようでは、せっかく教えても最初からつまずいてしまう。(保育園)
- 13 相手の気持ちを考える保育も大切にしているので、小学校での道德の授業につながると感じた。(幼稚園)
- 14 道德の授業は、黒板の絵を使って先生がお話されており、保育園での絵本の読み聞かせに似ていると感じた。(幼稚園)
- 15 友達同士のトラブルがあった時、クラスでどうしたらいいのか考えることがある。道德につながると感じた。(幼稚園)
- 16 発言をしなくても自分の中で考えがまとまっている子は大丈夫だと思うが、自分の考えもまとまらず、時間だけが過ぎてしまっている子もいるであろうと感じ、それが積み重なった時に差が出てくるのだと思った。改めて、土台作りの大切さを感じた。(保育園)

## 幼保小三者連絡会 アンケート結果

開催日 令和6年7月1日(月)

会場校 新明小学校

参加者 公開授業 36人

研究協議 35人

アンケート回収 31枚

### 1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	9	18	4	0	31
%	29.0	58.1	12.9	0	100

### 2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
人	15	5	5	6	31
%	48.4	16.1	16.1	19.4	100

### 3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	24	2	2	0	0	3	31
%	77.4	6.5	6.5	0	0	9.6	100

### 4. 良かった点、物足りない点

- 1 昨年度担当したお子さんの成長が見られて嬉しく安心しました。又、他の園の先生方のお話を聞くことができ、沢山学ばせていただきました。小学校の先生のお話を聞く機会は中々ないので、このような場で色々な意見の交換ができて大変良かったと思います。自分の保育を一度見直したりこうしていこうと思直すことが出来た機会になりました。(幼稚園)
- 2 小学校で行われている授業を実際に見させて頂き、学ぶことがたくさんありました。メリハリを持ち、子どもたちが楽しんで活動に参加している姿を見ることが出来て嬉しかったです。また、次回の幼・保・小三者連絡会を楽しみにしています。本日はありがとうございました。(幼稚園)
- 3 小学校の授業を実際に見せていただき、子どもたちがどう授業に興味を持って主体的に取り組んでいるかが分かりました。小学校の先生の参加が少なかった為、子どもたちの小学校の

- 様子、小学校の試みなどがあまり聞けずに残念でした。(幼稚園)
- 4 小学校で子どもたちが、どのように授業を受けて興味関心、学びにつながっているのか実際に見ることができて良かった。卒園児が一生懸命文字を書いたり、できた文を発表し合ったりする姿を見て、大きな成長を感じ、感動した。この時期に椅子に座って授業に参加するという姿を見て、園でも保育に努め、接続につながるようにしたい。(幼稚園)
  - 5 普段なかなか見ることのない小学校の現場を見させて頂き、自分の保育をもう一度見直したいと思いました。幼稚園や保育園では、一番上の学年として年長児は過ごしているが、小学校に行ったら一番下の学年で、接続のときにどのようにこの一年を過ごしたら良いか考えさせられました。今回の班別協議で出たことも、また保育に活かして、日々過ごしたいです。(幼稚園)
  - 6 小学校の授業を拝見するだけではなく、保育園や幼稚園の先生方と意見を交わす機会があり、入学に向けてのやるべきことなどが共有できたことが良かったです。心配していることなど、小学校での対応の仕方を聞いて安心できたことも良かったです。(幼稚園)
  - 7 本日は連絡会に参加させて頂きありがとうございました。素敵な授業を見させて頂き、話し合いでは小学校に向けて各園が取り組んでいることなども知ることができ良かったです。小学校の先生が、1名しかいらっしゃらなかったのも、他の色々な話や意見など聞きたいなと思いました。(幼稚園)
  - 8 普段見ることのできない小学校の授業の風景や、持続期について色々な先生方の話を聞くことができて勉強になりました。(幼稚園)
  - 9 1年生の授業を参観して、4月に入学した子どもたちの今の姿・成長が見られ、とても参考になった。各所の先生方のご意見も聞くことが出来て、自分の保育現場に活用できるつなげる物が多かった点。(幼稚園)
  - 10 小学校での授業の様子を見学し、数か月前と違う成長した姿を見ることができた。先生方の話を聞いたり話し合うことで、学び(遊び)や育ちについて考えることができた。学校の先生の工夫や、各幼稚園、保育園の工夫していることを聞き、取り入れていきたいと思った。(保育園)
  - 11 心配な部分も少しありながら、卒園を迎えた子ども達が授業に真剣に取り組む姿にとっても感動した。4月～の3か月でどのような指導があって今日のような姿になったのか、4月はどんな状態だったのか、実際に先生(小学校)に聞くことができてとてもよかった。他の幼稚園、保育園の取り組み(就学への接点)を知ることができた。(保育園)
  - 12 保育園卒園までに、文字については読めること、自分の名前を書けるようになってほしいと思いながら、文字に興味関心が向かうような工夫をしています。小学校に入学してから困る子がいる話も耳に入り、心配していたが、0から教えるつもりでいるとお話ししていただき、安心いたしました。又、その子その子の個性、足りないところを見ながら対応を考えてサポートしていただいていること、一人ひとりの人格を否定しないで暖かく見守っていただいていた安心しました。(保育園)
  - 13 卒園していった子どもたちが楽しんで授業に参加している姿が見られて良かったです。笑顔を見られ安心、癒されました。もう少しディスカッションする機会があると良かったかな?と思います。(保育園)

- 14 小学校の授業や生活を楽しむために、感覚的な部分を育んだり、他園や小学校の先生方の話を聞いて、保育の取り組み方に色々な方法があることを学べた。子どもたちが主体となり考え、答えを見出し、大人と確かめ合うことの大切さを改めて感じた。(保育園)
- 15 実際に1年生の授業を見学でき、子どもたちの様子を間近で見ることができたのが貴重な機会であると感じました。先生がどういう意図で子どもへの声掛けをしているか聞くことができ、学校の先生のご意見を知ることができ、授業中での学び合いや友達から教えてもらえる安心感を得ることができるなど、学校での教育の様子を感じられたこと。(保育園)
- 16 幼・保・小の連携のなかですべき事を話し合うことができ、それを実際に現在の園でも活用することができているなど感じました。又、授業のほうでも見させて頂き、今後参考にしていきたい事が沢山あったので、いいなと思いました。(保育園)
- 17 実際に小学生(1年生)の授業を見させて頂き、4~7月の間でこのようなことが出来るようになったなど参考になりました。また、先生の意見などを考えて頂くことで今後保育に取り入れたり、今していることのステップアップが必要になるということもより詳しく分かりました。お忙しい中、時間を作って頂きありがとうございました(保育園)。
- 18 小学校接続に向けて不安な面があったので、小学校の先生のお話が実際に聞いて良かったです。(保育園)
- 19 実際に授業を見学して園では見られない小学生になった子どもたちの姿を見ることが出来て良かった。この3か月を通して小学校でもスモールステップや繰り返し伝えていくことを大切にしていることが分かり良かった。具体的にどんな風に行っているのか授業以外の話ももっと聞けたら良かったと感じました。(保育園)
- 20 授業の内容、子どもへの接し方が見られてとても良かったです。(保育園)
- 21 学校で授業を見せてもらい、大変勉強になった。小学校でも楽しく過ごしていけるように子どもたちへの接し方を工夫していきます。(保育園)
- 22 卒園後の成長が見られたこと。授業で工夫していることが保育にも活かせるのではないかと感じた。入学する上で、子どもたちの理想に向けて具体的に何をすべきか考える機会になった。(保育園)
- 23 成長した卒園児が45分間の授業に座っていて、いつもより頑張っているだろう姿を見られてうれしく思いました。担任の先生もとても子どもたちに寄り添い関わって下さっている様子も、良い子に育ててくれていると感じました。(保育園)
- 24 今後の幼児教育と学校教育の接続のあり方を考える機会でした。(保育園)
- 25 小学校の先生方の話をきけて安心した。小さいときはたくさん遊び、生活を通して多くの事を感じ学べる大切な時なのでそれを良いと言ってもらえて安心しました。(保育園)
- 26 園を卒園後の子どもたちの様子が見られた。どんな風に授業を受けているのか、クラスのお友達とどのように関わっているのかが見られ、とても成長した様に思う。クラスによって担任が1人だったり、2人だったりの違いが良く分かりました。(保育園)
- 27 授業を見させて頂いた後にすごくディスカッションが出来て良かったです。(保育園)
- 28 良かった点：1年生の授業を参観できたこと。参考になりました。保育園・幼稚園の先生方のご意見を聞くことができたこと。(小学校)  
物足りない点：連絡会の内容と関係ないかもしれませんが、授業参観の態度(おしゃべり)

- はいかがなものでしょうか。授業が始まる前に一言伝えた方が良いのではないかと感じてしまいました。(小学校)
- 29 幼稚園・保育園での取り組みや個に応じた対応を知ることができました。また、学習のカリキュラムや学びの内容を知ることができ、今後の小学校での教育に活かしていけると感じました。また、具体的な子どもの保育園、幼稚園での様子も知ることができ、子ども理解も深めることができました。(小学校)
- 30 幼稚園、保育園での取り組みや教え方、様々な事を教えていただいている様子をお聞きでき、大変良かったです。園によつての違いはありますが、どの園の先生も小学校で困らないように、そして愛情をもって育てていただいていることがよく分かり、小学校でもそれらをうまく引き継ぎ、さらに伸ばしていけるようにしたいと感じました。(小学校)
- 31 幼稚園・保育園の取り組みが確認できた。(小学校)

#### 5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- 1 皆さん忙しい中で、このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。(幼稚園)
- 2 小学校の先生方との連携がより深まるよう話し合いをする機会がより多くあると嬉しく思います。幼・保・小、様々な子どもたちへの関わりがあるので良いところを取り入れて子どもたちにおろしていきたいと考えているので連絡会の回数を増やしても良いのでは。(研究授業ではなく「話し合い」の日のみでもよいのでは。(幼稚園)
- 3 もっと多くの小学校の様子を見て、子どもたちのためによりよい接続ができるようにしたい。(幼稚園)
- 4 意見交換の際に、小学校と保育園、幼稚園の先生の人数の差が大きく、なかなか忙しい中で時間の調整は難しいと思いますが、様々な小学校の先生のご意見が聞けると良いと感じました。(幼稚園)
- 5 お時間忙しいとは思いますが、他の小学校の先生のお話や、幼保小の連絡や意見交換ができたらと思いました。(幼稚園)
- 6 今日が月曜日だったので小学校は忙しくて参加できない(参加が少ない) かったのではと仰っていました。次回はもう少し小学校の先生がいるといい。(保育園)
- 7 小学校の先生が沢山出席してくださるといいなと思います。(保育園)
- 8 当園での過ごし方以外で参考になったことが沢山あったので、また機会がありましたら参加したいです。(保育園)
- 9 今後も定期的に連携、連絡会が行えるように、気軽に参加出来たらいいと思います。(保育園)
- 10 今回のように1年生の担任の先生のご意見を聞けるのは大変ありがたいです。今後もいろいろ意見を聞く機会を頂ければと思います。(保育園)
- 11 普段は聞くことの出来ない他の園の話や意見を聞けてとてもいい時間を過ごせました。(保育園)
- 12 初めて参加させて頂きありがとうございました。子どもたちが自分で考え選びながら生活をしていけるようにしていきたいと改めて感じました。丁寧なかかわりの大切さも改めて行っていきたいと思っています。(保育園)



- 13 とても良い意見や感想を各園の先生方から聞かせて頂き参考になりました。(保育園)
- 14 小学校の先生一人ひとりや小学校の方針は全然違うと思うので小学校の先生にもたくさん参加してもらえたらと思いました。(保育園)
- 15 初めて参加して他の園の様子や小学校の担任の先生の情業のやり方等を教えて頂けてとても良かったです。幼・保・小の接続についてもここまではやっておいてほしいと言われ、それは大変な事だと思いました。小学校の先生方の取り組み方がつながっていてすごいなと思いました。(保育園)
- 16 小学校の先生方の参加がもう少し居て頂けますと、より有意義な会議が出来ると思いました。(保育園)
- 17 特にありません。ありがとうございました。(小学校)
- 18 大変ありがとうございました。今後の教育に活かしていきます。学びや生活の基盤を作るというテーマだったので、もっとたくさんの子どもの様子の共有や、周りの小学校とも共有できると、より連携がとれのではと思いました。(小学校)
- 19 小学校の先生方も、もう少し多いといいなと思いました。(小学校)
- 20 小学校の参加率をあげたい。(小学校)

## 幼保小三者連絡会 アンケート結果

開催日 令和6年7月3日(水)  
 会場校 高坂小学校  
 参加者 公開授業 35人  
           研究協議 36人  
 アンケート回収 32枚

### 1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	4	14	12	2 (認定こども園：2)	32
%	12.5	43.8	37.5	6.2	100

### 2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	未記入	計
人	15	2	4	10	1	32
%	46.9	6.2	12.5	31.3	3.1	100

### 3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	24	4	2	0	0	2	32
%	75.0	12.5	6.3	0	0	6.2	100

### 4. 良かった点、物足りない点

- 1 本日はお忙しい中、このような連絡会を開催して下さいありがとうございました。昨年度、担任した子どもたちに会えたこと、とても嬉しかったです。小学校の授業を見られることはあまりないので貴重な経験になりました。入学して3か月の子どもたちがどのように学んでいるのか、理解することができました。今の子どもたちの姿に近づけるために、幼稚園でどのような力を育むべきなのか考えることができました。協議では小学校側からの意見も聞いて良かったですが、1人ひとり意見を伝えるだけではなく、もう少しフランクに話し合える方が意見も言いやすく良いのかなと思いました。(幼稚園)
- 2 4月からのこの4か月での成長した姿を見ることができました。45分間の授業に集中して取り組んでいる様子も知ることができました。又、各学校、保育園の先生方ともお話することが

でき、今後の保育への参考になりました。明日から実践できることをやっていきたいと思いません。(幼稚園)

- 3 園生活で、子ども主体的にを第一に考え、生活してきたので学校では授業中に、どのように子どもの主体的な姿を、大切にしているのか気になっていた為、実際に見て、疑問に思ったことに答えていただけたことが良かったです。(幼稚園)
- 4 卒園児が意欲的に授業に取り組む姿を見ることができ良かったです。協議会では小学校の先生方のお話を聞いたのが良かったです。情報交換ができた事は良かったです。接続についてもっと話ができると良かったと思いました。(幼稚園)
- 5 各小学校、園のいろんな現状がきけたこと。(保育園)
- 6 今回の会議では連絡会という名のとおり皆、それぞれが本音で疑問に感じたこと等、話が出来ていて、とても実りある時間となりました。ありがとうございました。(保育園)
- 7 高坂小学校へ就学した子ども達の様子を見ることができ、日々どのように授業に参加しているのか知ることができ大変参考になりました。幼・保から小学校への連携を求められていること、小学校での課題では、授業での集中力、体力不足などが上がり、幼児期にその力が身に付けていけるよう保育に取り入れていきたいと感じました。また、幼児期の経験が小学校での主体性に繋がると感じ、子ども達には沢山経験させてあげられたらと感じました。(保育園)
- 8 1年生の授業を見学した後、担任の先生や他の小学校の先生の意見を聞き、幼・保で伸ばしておいた方がいい力を知ることができた。(集中力、気持ちの切り替えが課題という意見も出た)クラスが多く、時間配分が難しかった。意見交換ももっといろいろ聞いてみたかった。(時間が取れると嬉しい)(保育園)
- 9 進学した子どもたちの様子を見ることができたこと。研究協議で幼・保・小様々な意見を聞くことができた。ありがとうございました。(保育園)
- 10 卒園した子どもたちの様子が見られて良かった。他の園や幼稚園の就学に向けて取り組んでいる事が知れて良かった。(保育園)
- 11 授業の内容と、自分のクラスで勉強している内容と重なる部分があったため、授業の進め方という点で参考になる部分がありました。また、小学校で保育園に対して求めていることを具体的に聞いたことが良かったです。(保育園)
- 12 小学校の先生の参加が多かったのも、とても良かったです。4～6月の3か月間(1年生)先生として大変だったことを聞くことができました。大変だった点を園で少しでも改善できるように指導していくことができるようにしたいです。(保育園)
- 13 卒園児が活々と生活する姿がみられて、とても嬉しかったです。高坂小学校の先生方の「今現在の子どもの姿がこうだから、こういう取り組みをしている」等聞きたかったです。(保育園)
- 14 卒園児たちの授業での様子を実際に見ることができ、安心した反面、今年度のクラスの子どものためにできることは何なのか、考えを深めることができました。(保育園)
- 15 卒園児の様子、実際今の子ども達が就学しこまでできるようになるか心配な子のことも想像しながら授業の様子を見ることができました。沢山の人数を先生1人で見られているのは本当に大変でご苦労も多いと改めて実感しました。このような貴重な機会を開いてくださり、ありがとうございました。(保育園)

- 16 1年生の学習、様子が見られてよかった。緊張しつつもしっかり授業を受けられている姿が見られました。協議ではいろんな学校、園の様子がきけ、似ている悩みなど聞け、共有ができてよかったです。峯先生のお話がとても参考、勉強になりました！！(保育園)
- 17 小学校の先生、他の幼稚園、保育園の先生のお話を聞くことができ、就学に向けてどう生活していくか、他の園の取り組みでいいなと思うこともあり、お話が聞けて良かったです。(保育園)
- 18 幼児期に行っておくこと、どのようにして小学校に受けついでいけばいいのか、大事にしていく学びについてもたくさん知ることができました。(小学校)
- 19 幼稚園、保育園の生活を知ることができてよかったです。また学校では、みえない視点でお話していただき、今後の指導の方針のヒントとなりました。ありがとうございました。(小学校)
- 20 幼児教育と小学校教育の接続について、共通理解ができ、よい情報交換の場になりました。今後の教育活動にいかしていきます。授業をしてくださった先生方にはお礼申し上げます。(小学校)
- 21 他校の同学年の様子が分かってよかったです。又、教室の掲示等も参考になりました。幼・保の先生方とお話ができ、情報交換できるのはありがたかったです。(小学校)
- 22 幼児期に大切にしてきたところ(主体性・対話)を小学校入学でスムーズに接続させるために、今日話したことを念頭に指導していきたい。(小学校)
- 23 幼保の重視している教育方針を聞くことができ、遊びからの自然の学びの重要性を学ぶことができた。子どもの発言のさせ方(幼保)自由に発言、自然と話す。その中から自分の思いを伝える力を養うと改めて分かった。小学校教育でも、子どもの発言しやすい環境を学習規律とバランスを取りながら指導していきたいと思った。(小学校)
- 24 4つの授業を同時に参観できたのでよかったです。(小学校)
- 25 初めて他の学校さんの1年生の様子を見ることが出来、大変勉強になりました。また、幼稚園、保育園の先生方のお話を聞き、今後の指導をどのようにしていくかもう一度見直すきっかけとなりました。幼保から小学校への接続は本当に大切だと改めて実感しました。(小学校)
- 26 情報交換のみでなく、互いの悩みや疑問に答える場面もあったのが良かったです。(小学校)
- 27 情報交換(特に小学校へ通う子供がいる園)は積極的に行う必要性を強く感じます。幼・保・小がそれぞれの立場で意識して連携をすることで子どもたちにとってより良い接続が行えることと思います。その点では、全体的な話になったように感じます。今後はより具体的な連携を行えるよう努めていきたいと思います。(小学校)
- 28 一年生での授業の様子を見ることができ、子どもたちの姿を知ることができました。(認定こども園)
- 29 各園の接続に向けての取り組みや何を大切にしているのかを聞いたり、幼児と小学校での主体性の工夫(内容)が変わっていくものの重点としていることを共有できた。(認定こども園)

**5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。**

- 1 このような機会を作っていただきありがとうございました。また是非参加させていただきたいと思います。(幼稚園)

- 2 小学校の先生の話がもっと多くの先生(学校)が出席されて聞けたらいいなと思います。小学校1年生の先生が日々感じていることをもっと話してもらえるとつながると思います。(保育園)
- 3 次の機会があればぜひ参加したいです。大変勉強になりました。(保育園)
- 4 カリキュラムのある園では公開などできるかと思いますが、自園のような生活がメインで過ごしている園での公開はむずかしいのかと感じましたが、特に小学校の先生方にはみてもらいたいと思っています。(保育園)
- 5 今後も宜しくお願ひ致します。(保育園)
- 6 オンライン等の実施方法はないのでしょうか、他の教員も参加できるように。(またはオンデマンド)(小学校)
- 7 1年生の実態を考えると7月くらいがよい。それより早いととてもではないが公開できないところもある。(小学校)
- 8 実態を知るために体験実習(小1の先生が年長クラスを半日体験)とかはどうでしょうか。(小学校)
- 9 お世話になりました。(小学校)
- 10 参観、協議ともに良かったです。本日大変学びになりました。今後の指導に活かして参ります。ありがとうございました。(小学校)
- 11 日時の設定を、できれば集まりやすい時期に・・・(いつでも慌ただしいのですが)(小学校)